

## 無病息災・地域の発展を願って

一月十五日、根岸地区の高井東と大通一・二丁目の市内二カ所에서의神行事が行われました。さいの神行事は地域によっては「どんと焼き」とも呼ばれ、正月の十五日に行われる火祭りの行事。正月の松飾りやしめ飾りなどを持ち寄り、焼く、その火でもちなどを焼いて食べ、一年の健康と幸福を祈るものです。

高井東自治会では今年で十一回目。自治会長の山口正平さんは「子供たちが毎年の楽しみにしている行事です。これからはほかの自治会も誘って行っていきたいですね」と話しています。



▲スルメが焼けるのもあつという間（大通で）

## 高井東、大通一・二丁目自治会



▼焼き場の高さはおよそ7メートル（高井東で）

は豚汁を食べたりして温まり、大人は酒を酌み交わしたりしながら談笑して、この行事を楽しんでいました。

大通自治会では、昭和五十八年からこの行事が続いています。今では地域の有志や町内の子供会らが竹藪めやテント張りなどを分担して作り上げている、恒例となった行事。点火は今年の年男と年女、子供会代表の男女が行いました。

大通自治会協議会長の石井茂さんは「各世代が協力して作り上げた地域の行事。大いに親しんでもらえるものとなりました」と話しています。昨年までは甘酒やおしるこが振る舞われていましたが、今年はカレー事件などの影響から自粛。けれども、参加者はおいしそうにもちや焼きイモをほお張っていました。

## ようこそ白根へ 看板化粧直し

大風・フルーツ看板リニューアル



昨年の暮れ、国道8号沿いの新飯田地区と大通地区に設置されている「大風・フルーツ看板」が修理され、白根市の玄関口が装いも新たにになりました。修理されたのはおよそ八年ぶり。今までのものが汚れてしまっ景観を損ねていたことから、化粧直しも兼ねてデザインを新しくしたものです。

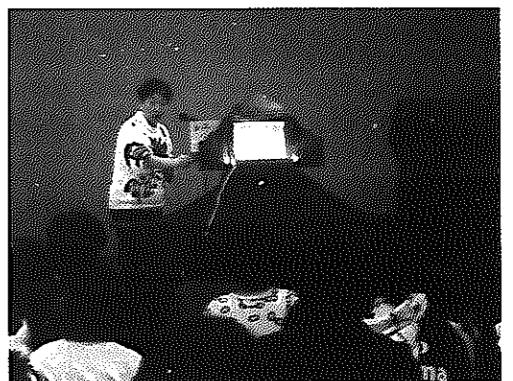
柱に取り付けられた全長は十一メートル。看板自体の高さは三メートル、幅が六メートルです。下地の鉄板にプリントシートを張ったもので、白根市を代表する果物やキノコなどの農産物と大風の絵柄が南北の出入口で出迎えてくれます。

新飯田地区にある看板の絵柄は北面が「大高組」、南面が「桜葉組」。大通地区にある看板の絵柄は北面が「本新蝶組」、南面が「五郎組」となっています。

絵柄のほかに今までと違う点は、看板の下にしろね大風と歴史の館までの案内板が取り付けられたこと。市外から訪れる人にも、同館までの距離数が分かるようになりました。

## まちの話題

### 子供は新鮮、大人は懐かしく



新潟ひょうしぎの会 紙芝居公演

一月二十三日、カルチャーセンター柔道場で紙芝居の公演が行われました。これは、親子を対象に紙芝居を楽しんでもらおうと中央公民館が主催したもの。会場はたくさん親子連れでにぎわいました。

午後の部の公演は「茂吉の猫」などの紙芝居五つに、人形を使った「大きなかぶ」の話と盛りだくさんの内容。話し手の巧みな語り口の紙芝居に、子供も大人も楽しそうに見入っていました。また、午後の部では午前は違った演目も披露され、訪れた人を楽しませていました。

### 地域みんなの憩いの場に



松橋コミュニティ広場が完成

昨年十一月、根岸の旧松橋小学校跡地に「松橋コミュニティ広場」が完成しました。これまでの跡地は、松橋自治会の皆さんが手作りの公園を目指して自主管理してきたもので、今年度、側自治総合センターからの宝くじ事業の助成を受けて整備をしました。助成額は二百五十万円。ゲートボール場が設置されたほか、ブランコなどの遊具も揃えられました。今回の助成を受けて、広場は子供からお年寄りまで、大勢の人が幅広く利用できる憩いの場として生まれ変わりました。

### 防災への決意も新たに

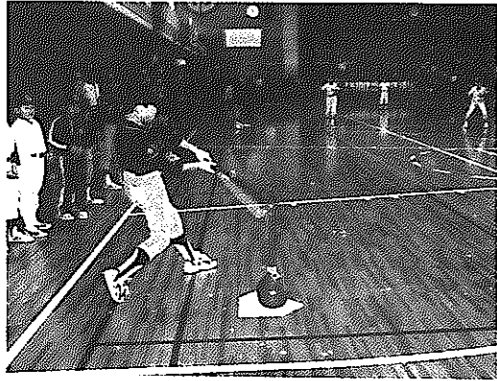


平成11年消防出初め式

一月六日、新春恒例の消防出初め式が産業厚生会館で行われました。式典に先立って行われたパレードには、市内消防団員九十一人と消防車や救急車など二十一台が参加。旧白根地区消防本部から産業厚生会館前までを堂々と行進しました。

式典では、竹内市長が「住民の生命と財産を守る第一線の活動機関として、今年も防災に努めてください」と消防団員を激励。続いて行われた表彰式では、新飯田、庄瀬、白井、大郷、鷺巻地区の消防団が無火災表彰を受けました。

### 体育館でプレーボール



日本野球連盟新潟支部

日本野球連盟新潟支部主催のティールボール教室

日本野球連盟新潟支部主催のティールボール教室が、十二月二十六日、白根北中学校体育館で開かれ、市内外の野球スポーツ少年団の五チーム、百五十人が参加しました。

ティールボールは室内で行うミニベースボール。投手の投げる球ではなく、ティールに乗せたゴムボールをプラスチック製のバットで打ちます。中にはボールに当たらず、ティールを叩いてしまう珍プレーも。普及員の大塚一夫さんは「冬場の練習に取り入れて、ゲームを楽しみながら体を鍛えてほしい」と話しています。

## TOPICS